

- ▶ 林業については、労働条件の厳しさや低賃金等という悪いイメージばかりが定着し、担い手の確保が困難な状況にあるが、森林管理システムを円滑に推進していく上では、各地域の林業を担う林業事業体を意欲と能力のある林業経営者へ育成していく必要がある。
- ▶ そこで、県では、林業労働力確保支援センターに委託して、就業希望者に向けたイメージ動画を作成するとともに、インターネットを通じて広く周知することで林業への理解を促進し、林業事業体への就業拡大を図った。また、事業体の経営診断、生産性向上のための指導を行い林業事業体の育成を行うとともに、林業機械のリース等経費への支援を行い、担い手の確保と林業事業体の育成に努めた。
- ▶ また、令和4年度は、意欲と能力のある経営者の経営改善を図ることを目的とした作業システムの構築指導を行う研修に使用する林業用機械を整備した。
- ▶ 令和5年度においても、引き続き担い手の確保及び事業体の育成に努める。

□ **事業内容【3事業費合計】** 66,719千円 (全額譲与税)

1 生産性向上等指導事業

林業への理解促進と就業者の確保を図るためのイメージ動画を作成するとともに、インターネットでの情報発信を行う。また、林業事業体の生産性及び収益性の向上のための現地指導や経営指導を実施。

【事業費】 7,980千円 (全額譲与税)

【実績】 動画の作成・配信、18事業体に対する経営指導

2 新規参入事業者等生産性向上支援事業

意欲と能力のある林業事業体と連携して施業を実施する事業体を対象に林業機械のリース等経費への支援を行う。

【事業費】 17,080千円 (全額譲与税) 補助率：1/3以内

【実績】 15事業体に対し、リース等経費に支援

3 高度林業担い手育成機器整備事業

意欲と能力のある林業事業体の経営改善のため、高度な林業技術者を養成するための研修用機器を整備する。

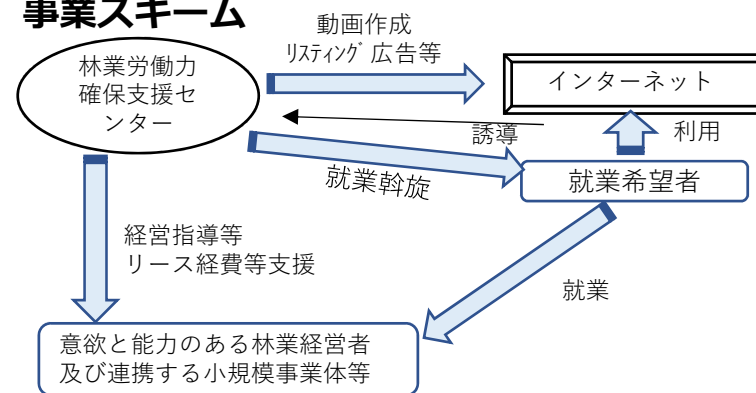
【事業費】 41,659千円 (全額譲与税)

【実績】 フォワード ハーベスタ
バックハウ、グラップル、バケット
及び自動連結器



(事業1：イメージ動画)

□ **事業スキーム**



□ **工夫・留意した点**

- ・ 林業に興味を持ってもらえるような楽しいイメージややり甲斐のある仕事というイメージの動画を作成。
- ・ 林業事業体に就業した新規就業者数が令和4年は61人と、3年連続して50人を超えた。

◇ **基礎データ**

①令和4年度譲与額	143,672千円
②私有林人工林面積 (※1)	189,478ha
③人口 (※2)	1,334,841人
④林業就業者数 (※2)	1,330人

※1：「2020農林業センサスより」、※2：「R2年国勢調査」より